

2014年（平成26年） 11月 694号

死によって真の命が始まる

マリノ E. デハクト Jr.

私たちはいつかこの世を立ち去らなければなりません。不幸な人と幸福な人、賢い人と愚かな人、誰もが同じことを待っています。それは死です。それは、人間にとって一番恐ろしいことです。科学技術がいくら進んでも、死に関しては未だに何もできることはありません。延命するために科学技術が役に立つ場合もありますが、結果的に同じです。人間は死を迎えます。もし私たちの存在全てが死によって終わるとしたら、本当に悲しいことでしょう。幸いなことに私たちキリスト者は死ぬことが終わりではなく、真の命の始まりであることを信じています。ある意味で死によって新しい命、つまり永遠の命を手に入れることができるということです。ご存じのようにカトリック教会ではこの新しい命は主キリストの復活によって実現しました。今日、全世界で復活祭をお祝いしています。ヨハネ福音書の第20章1-9節はキリスト者にとって本当に良いお知らせです。もしキリストは十字架につけられた後、よみがえられなければ、私たちがキリスト者であることは空しいだけです。なぜなら聖書に書かれていること、カトリック教会の伝承や教えは全て崩れてしまうのです。一方で、主キリストが受難と死を乗り越えることができたことはそれらの確証になっています。従って主キリストの復活は私たちの信仰の土台となっているのです。私たちはキリスト者と呼ばれるために主キリストは生きていることを信じています。但し、信じることは単純なものではありません。見える者を信じることは簡単ですが、見えない者を信じることは誰にとっても難しいと思います。最初の弟子たちでもこの復活の出来事を信じることはできませんでした。彼らは主キリストの言葉と行われた偉大なみわざを目の当たりにしましたが、それでも疑いを拭えませんでした。恐らく、主キリストのお受けになった受難が壮絶すぎて、聖ヨハネ以外、他の弟子たちは主イエスが神の子だと信じなくなってしまいました。聖ペトロをはじめ、皆が主キリストを捨ててしまいました。しかし復活後、主イエス前が彼らの前に何回も現われ、直接ご自身を触れさせることによって初めて弟子たちは主キリストのご復活を確信することが出来ました。そして彼は主キリストの復活の証人になって新しい命にあずかることができました。

皆さん、いかがでしょうか。今日私たちは主キリストのお姿を実際に見て、直接触れてみないと信じることはできないでしょうか。皆さんが既にお考えの通り、その必要はありません。何故なら、私たちのためにキリスト自身が定め

られたしるし、つまり秘跡を残してくださったからです。秘跡によって、特に洗礼によって私たちはこの主キリストによる新しい命にあずかることができます。そして秘跡の恵みによって私たちは最初の弟子たちと同じように主キリストの証人となります。聖パウロによれば『生きているのは、もはや私ではなく、キリストこそ私の内に生きておられるのです。』と伝えました。ここから新しい命を既に始まっています。なぜなら私たちはキリストのように生きようと決断しましたからです。しかし私たちが心に留めなければならないことが一つあります。それは復活をされた主キリストのように私達も試練を乗り越えなければならないことです。私たちはこの世にいる間に試練と受難にたくさん遭遇します。主キリストを信頼して、希望を持って試練に戦いましょう。